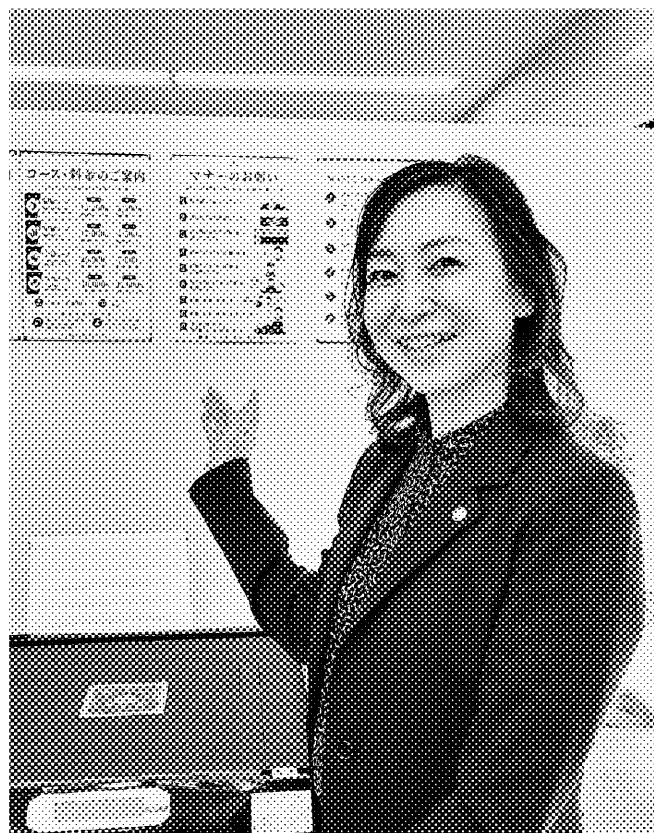


経営のこころ

ESPコンサルティング社長

志岐 亜希子 氏



しき・あきこ 86年(昭61)に東亜国内航空に入社し客室乗務員、スターフライヤー航空で新人教育訓練教官を経て米国で自家用パイロット免許取得。帰国後、50代で専門学校と明治大学専門職大学院(MBA首席修了)で学び、23年税理士事務所を開業。26年5月、未経験者の視点から麻雀を再定義した『MAZEL麻雀スクール』を設立。山口県出身、58歳。

一人ひとりに心を配る

かつては東亜国内航空(現日本航空)の客室乗務員(CA)として空を飛んでいた。現在は

開業4年目の税理士事務所、ESPコンサルティング(東京都立川市)を営む。

「CA時代はホスピタリティを何より大切に、忙しい機内でも一人ひとりに心を配る仕事を誇りにしていた」と振り返る。すぐ上には現在、日本航空の社長を務める鳥取三津子氏がいた。「同乗するフライトもあり、尊敬していたが、私は出産という転機を迎え、空に未練を残して退社を余儀なくされた」。

数年後、スターフライヤーの就航というニュースが舞い込

んだ。「自分の免許があれば

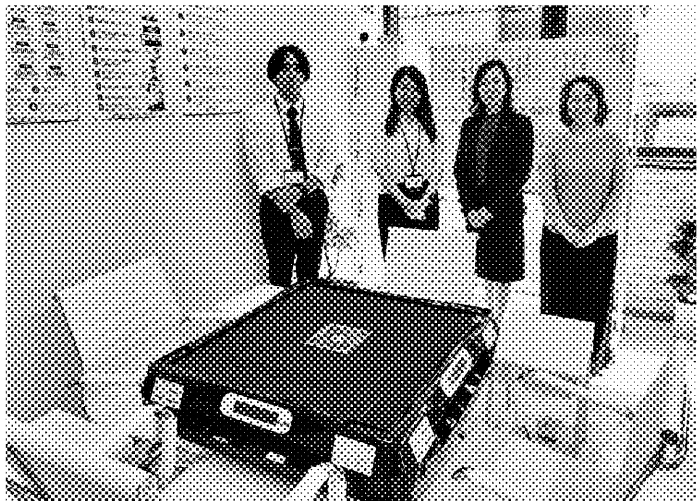
「CA時代はホスピタリティを何より大切に、忙しい機内でも一人ひとりに心を配る仕事を誇りにしていた」と振り返る。すぐ上には現在、日本航空の社長を務める鳥取三津子氏がいた。「同乗するフライトもあり、尊敬していたが、私は出産という転機を迎え、空に未練を残して退社を余儀なくされた」。

税理士業の「ファーストペンギン」



「一生飛べる」という夫の言葉が夢に導いた。この快挙も「円高という幸運、飛ぶことへの熱い思いからできたこと」と淡々と振り返る。

続いては生きる糧だ。年齢と各資格試験との相性を考え、税理士を目標に据えて「初歩の簿記2級検定内容から学んだ」。一歩ずつ積み重ね、3科目に合格し、税理士事務所働きながら明治大学専門職大学院に進学。試験範囲が広く合格が難しい税法などをカバーすることが主目的だったが、「そこで多くの受験仲間を得た。助け合える友人巡り会えた」と学び直しの厳しさと喜びをかみしめた。



清潔感のあるマゼール麻雀スクールの税理士事務所の一部(東京都立川市)境改善の必要性を感じた。「マージャンは認知症予防や子どもの教育にも役立つ。トランプのように誰もが安心して触れられる頭脳スポーツにできないか」と考えた。

2026年5月、有能でホスピタリティーの高い、男性講師を集め、

「息子が(マージャン)の道を進み始めた中、「先輩税理士のアドバイスもあり、合格と同時に独立開業を選んだ」。

当時、「息子が(マージャン)の道を進み始めた中、「先輩税理士のアドバイスもあり、合格と同時に独立開業を選んだ」。

マージャンの未来づくりへ「MAZELRU(マゼール)」の名称で、健全なスクールを立川駅近くに開業。移転した税理士事務所内に自動車も四つ置ける教室スペースも確保した。「お試し入会した方は女性が7割くらい。前例がない業務形態で、風営法の規制を受けない形にする折衝には時間がかかった」。

ファーストペンギンであり続ける志岐氏。教室の経営計画は「年内に50人の会員を獲得。グリードに応じた会費制とし、開業2年目に借入れの半分を返済する。3年目に稼働率35%を超えれば、5年で完済できる」とプロ税理士の顔をのぞかせ

(多摩・鈴木景章)